

石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ
https://www.senshu-u.ac.jp/isshinomaki/

石巻専修大学
広報係
☎986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717(直)



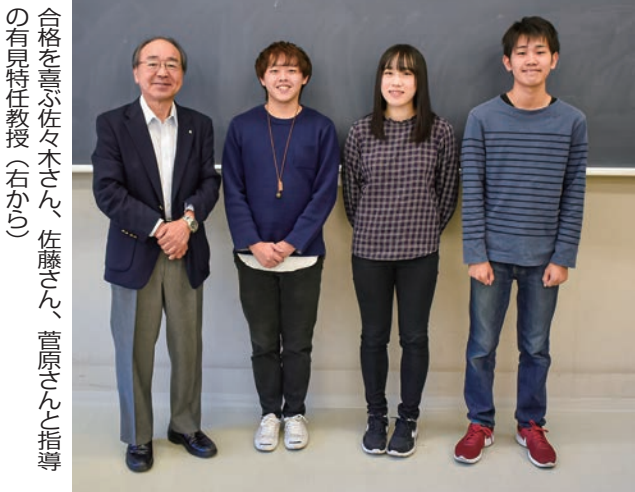
来春憧れの教壇に

2019年度宮城県公立学校教員採用試験(小学校教諭)に、人間学部人間教育学科4年次の佐々木巧さん(宮城県佐沼高)、佐藤ありささん(宮城県小牛田農林高)、菅原楓さん(宮城県多賀城高)が現役合格を果たした。

3人は学科主催の宿泊研修、保育士・教員養成センター主催の教員採用試験対策講座を受講するなど努力を重ね、2・7倍の競争倍率を突破。来年4月から憧れの教壇に立つ。

宮城県公立学校教員採用試験

人間教育学科3人合格



合格を喜ぶ佐々木さん、佐藤さん、菅原さんと指導の有見特任教授(右から)



アプリ活用コーチング学ぶ 硬式野球部員

経営・特殊講義

マネジメントの対象がスポーツ分野にも拡大している現在、情報通信技術(ICT)を活用したコーチング方法の習得を目指す経営学部の特設講義「データコーチング演習」が後期から開講されている。硬式野球部に所属する学生が受講し、コーチング理論や遠隔指導アプリの使い方を学んでいる。

マネジメントの対象がスポーツ分野にも拡大している現在、情報通信技術(ICT)を活用したコーチング方法の習得を目指す経営学部の特設講義「データコーチング演習」が後期から開講されている。硬式野球部に所属する学生が受講し、コーチング理論や遠隔指導アプリの使い方を学んでいる。

10月24日は、遠隔指導アプリ「スマートコーチング」を熱心に聞く学生。池田氏の講義を熱心に聞く学生。



AIを活用し システム制作

亀山研究室・佐藤さん

4年次生たちが独自の視点で取り組んでいる卒業研究も終盤に差し掛かった。理工学部情報電子工学科の亀山充隆研究室(知能システム研究室)に所属する佐藤透政さん(右)が、硬式野球部員らから作業する佐藤さん(右)らに指導を受けながら、システム制作に取り組んでいる。



快走した3区の戸澤さん

▽1区・齋藤凛▽2区・佐藤亜海(経営1・宮城県聖和学園高)▽3区・戸澤愛織▽4区・佐藤佳乃(人間1・山形県酒田南高)▽5区・千葉彩有花(人間2・宮城県常盤木学園高)▽6区・庄司琴美(経営4・宮城県聖和学園高)

主体的な取り組みをすることが、協働して解決に当たることが忘れない先生になってほしい」とエールを送った。

2013年の学科開設以来、現役での合格者は6人となった。また、今年度の宮城県公立学校教員採用試験(小学校教諭)では、卒業生2人も合格した。

話す佐藤さん。制作中のシステムでは素振りの連写画像からAIが「正例」に近いフォームなのか「負例」に近いフォームなのかの識別を行い、科学的、論理的にアドバイスを送り、改善に導く。現在は硬式野球部員ら10人の協力で模範学習データを収集している。スタートを収集している。スタートゾーンを9分制、各コースに合った正しいタイミングを撮影。収集したデータをインプットし、AIが自ら特徴を抽出、認識できるように学習させている。

戸澤さんは「納得いく走りかできた。この経験を来年に生かしたい。皆さんの期待に応えられるように今後もトレーニングに励む」と語った。水出場メンバー(敬称略)

中国・温州大から2人の交換留学生



国際交流協定校である中国・温州大学から9月2人の交換留学生を迎えた。婁開賢さん、祁鑫

日本での生活に期待を膨らませる婁さん(左から2人目)と祁さん(同3人目)。左はSAの奥山さん、右は後藤さん。日本のアニメと食文化に興味があり、「日本文化論の講義が面白い」と話す婁さん。「日本語の習熟に努めつつ、日本の学生が課題を解決する際の思考法を学びたい。日本と中国の経済協力を橋渡しするという夢があり、日本の大学院にも通りたい。そのためにも石巻専大で知識を深めた」と意欲を語った。祁さんは「教育面でサポートを受けながら、日本で学生生活を過ごす。

総合24位

杜の都駅伝

女子競走部が2年連続4回目となる第37回全日本大学女子駅伝対校選手権大会(杜の都駅伝)10月27日、宮城県仙台市)に出場した。6区間中4区間に1年次生を起用するフレッシュな布陣で挑み、1区の齋藤凛さん(経営1・宮城県聖和学園高)が区間12位、3区の戸澤愛織さん(人間1・青森県八戸学院光星高)が同10位と力走。総合24位(2時間21分38秒)でゴールした。